



平成30年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年9月4日

上場会社名 株式会社アマガサ 上場取引所 東
 コード番号 3070 URL <http://www.amagasa-co.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 天笠 竜蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 鈴木 親 TEL 03-3871-0111
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第2四半期の連結業績（平成29年2月1日～平成29年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第2四半期	3,117	△10.2	30	57.9	29	162.7	9	—
29年1月期第2四半期	3,471	△9.6	19	△89.0	11	△93.4	0	△99.4

(注) 包括利益 30年1月期第2四半期 11百万円 (—%) 29年1月期第2四半期 △33百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第2四半期	4.99	—
29年1月期第2四半期	0.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年1月期第2四半期	5,408	1,598	29.5	857.67
29年1月期	5,023	1,616	32.2	867.59

(参考) 自己資本 30年1月期第2四半期 1,598百万円 29年1月期 1,616百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	16.00	16.00
30年1月期	—	0.00	—	—	—
30年1月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年1月期の連結業績予想（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	6,164 △6.2	41 —	30 —	10 —	5.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年1月期2Q	1,920,000株	29年1月期	1,920,000株
② 期末自己株式数	30年1月期2Q	56,800株	29年1月期	56,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年1月期2Q	1,863,200株	29年1月期2Q	1,863,200株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成しておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等さまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料については、平成29年9月8日に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における婦人靴業界におきましては、消費者の低価格志向が引き続き強く、個人消費は伸び悩んでおり、依然として厳しい経営環境となっております。

こうした環境のもと、当社は、従来の方針を維持し、デザイン性を追求した高付加価値商材の積極的な投入、適正価格の維持に努めたものの、非常に苦戦を強いられました。

当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高3,117百万円(前年同期比10.2%減)、営業利益30百万円(同57.9%増)、経常利益29百万円(同162.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。なお、セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

(卸売事業)

卸売事業におきましては、専門店向け販売が前年を大きく下回ったことなどから、売上高は1,047百万円(前年同期比16.8%減)、営業利益は186百万円(同20.4%減)となりました。

(小売事業)

小売事業におきましては、JELLY BEANSくずはモール店をオープンした一方、JELLY BEANSららぽーと磐田店、ららぽーと柏の葉店、ららぽーと富士見店を閉店し、7月31日現在における直営店舗数は33店舗となりました。売上高につきましては、直営既存店で前年同期比6.6%減、百貨店向け販売においても同7.8%減となりました。

これらの結果、小売事業における売上高は1,832百万円(前年同期比8.9%減)となりましたが、前四半期と比較し新規出店が少なかったことなどから、営業利益は203百万円(同10.9%増)となりました。

(EC事業)

EC事業におきましては、自社WEB販売及び通販向け販売ともに好調に推移し、売上高は237百万円(前年同期比17.6%増)、営業利益は44百万円(前年同期比57.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,269百万円(前連結会計年度末は1,750百万円)となり、518百万円増加しました。主な理由は、現金及び預金の増加(628百万円から953百万円へ325百万円増)、売上債権の増加(697百万円から884百万円へ186百万円増)及び未収還付法人税等の減少(11百万円減)であります。

また、固定資産の残高は、3,139百万円(前連結会計年度末は3,273百万円)となり、134百万円減少しました。主な理由は、固定資産の取得による増加(45百万円増)、減価償却による減少(89百万円減)、固定資産の売却による減少(78百万円減)及び減損損失(21百万円減)であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,717百万円(前連結会計年度末は1,526百万円)となり、191百万円増加しました。主な理由は、1年内返済予定の長期借入金の増加(800百万円から882百万円へ82百万円増)、電子記録債務の増加(304百万円から375百万円へ70百万円増)及び支払手形及び買掛金の増加(131百万円から171百万円へ39百万円増)であります。

また、固定負債の残高は、2,092百万円(前連結会計年度末は1,880百万円)となり、211百万円増加しました。主な理由は、運転資金の調達による長期借入金の増加(1,631百万円から1,868百万円へ236百万円増)、リース債務の減少(89百万円から63百万円へ26百万円減)であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、1,598百万円(前連結会計年度末は1,616百万円)となり、18百万円減少しました。主な理由は、配当金の支払い29百万円による減少、親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円の計上による増加であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて325百万円増加し、705百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は44百万円(前年同期は49百万円の収入)となりました。

これは主に、仕入債務の増加額110百万円、減価償却費89百万円、減損損失21百万円及び法人税等の還付額17百万円に対し、売上債権の増加額188百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は29百万円(前年同期は71百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入86百万円、定期預金の払戻による収入63百万円に対し、定期預金の預入による支出63百万円、有形固定資産の取得による支出45百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は252百万円(前年同期は77百万円の収入)となりました。

これは、長期借入れによる収入800百万円に対し、長期借入金の返済による支出481百万円、リース債務の返済による支出36百万円及び配当金の支払額29百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成29年8月10日付公表「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の数値より変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	628,861	953,910
受取手形及び売掛金	697,982	884,310
商品及び製品	405,355	415,251
その他	31,546	22,060
貸倒引当金	△13,400	△6,300
流動資産合計	1,750,347	2,269,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,370,501	1,328,534
土地	1,372,476	1,318,776
その他(純額)	65,002	54,696
有形固定資産合計	2,807,980	2,702,007
無形固定資産	145,839	113,831
投資その他の資産	※2 319,352	※2 323,212
固定資産合計	3,273,172	3,139,052
資産合計	5,023,520	5,408,285
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	131,247	171,100
電子記録債務	304,668	375,576
1年内返済予定の長期借入金	800,668	882,783
未払法人税等	—	13,160
返品調整引当金	9,700	13,700
その他	280,024	261,421
流動負債合計	1,526,309	1,717,741
固定負債		
長期借入金	1,631,536	1,868,389
退職給付に係る負債	128,066	128,254
その他	121,105	95,875
固定負債合計	1,880,708	2,092,518
負債合計	3,407,017	3,810,260

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	308,100	308,100
資本剰余金	230,600	230,600
利益剰余金	1,101,667	1,081,159
自己株式	△71,056	△71,056
株主資本合計	1,569,311	1,548,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,590	27,373
為替換算調整勘定	23,601	21,849
その他の包括利益累計額合計	47,191	49,222
純資産合計	1,616,502	1,598,025
負債純資産合計	5,023,520	5,408,285

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
売上高	3,471,950	3,117,154
売上原価	2,078,427	1,792,611
売上総利益	1,393,522	1,324,543
販売費及び一般管理費	※ 1,374,425	※ 1,294,384
営業利益	19,097	30,158
営業外収益		
受取利息	729	482
受取配当金	1,200	1,125
貸倒引当金戻入額	604	8,300
その他	1,929	2,997
営業外収益合計	4,464	12,905
営業外費用		
支払利息	10,412	10,178
その他	1,869	3,250
営業外費用合計	12,282	13,429
経常利益	11,279	29,634
特別利益		
固定資産売却益	—	7,710
特別利益合計	—	7,710
特別損失		
固定資産売却損	908	—
減損損失	598	21,420
その他	—	2,613
特別損失合計	1,507	24,033
税金等調整前四半期純利益	9,772	13,311
法人税等	9,395	4,008
四半期純利益	376	9,302
親会社株主に帰属する四半期純利益	376	9,302

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	376	9,302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,858	3,783
為替換算調整勘定	△18,567	△1,752
その他の包括利益合計	△33,426	2,031
四半期包括利益	△33,050	11,334
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,050	11,334
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,772	13,311
減価償却費	99,258	89,572
減損損失	598	21,420
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,154	187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△104	△5,107
返品調整引当金の増減額(△は減少)	1,800	4,000
受取利息及び受取配当金	△1,930	△1,607
支払利息	10,412	10,178
売上債権の増減額(△は増加)	△200,382	△188,481
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,819	△9,896
仕入債務の増減額(△は減少)	142,093	110,759
その他	31,307	△8,255
小計	63,161	36,083
利息及び配当金の受取額	1,930	1,607
利息の支払額	△10,444	△10,209
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,922	17,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,724	44,553
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△91,685	△63,369
定期預金の払戻による収入	118,725	63,365
投資有価証券の取得による支出	△1,355	△1,291
有形固定資産の取得による支出	△78,755	△45,111
有形固定資産の売却による収入	—	86,451
無形固定資産の取得による支出	△3,390	—
差入保証金の回収による収入	—	5,125
差入保証金の差入による支出	△15,462	△9,915
その他	—	△5,379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,924	29,875
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△454,562	△481,032
配当金の支払額	△29,769	△29,767
リース債務の返済による支出	△38,551	△36,881
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,116	252,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,380	△759
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	48,536	325,989
現金及び現金同等物の期首残高	479,024	379,864
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 527,561	※ 705,853

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。